

今週（4月25日から4月28日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、一部の先が調達量を減少させたことや、GCLポレート低下が影響し、先週末比でやや弱めの地合いとなった。

無担保コールO/N物は国内勢の調達を中心に▲0.030～▲0.005%のレンジでの出会いが始まった。その後はレート水準が若干低下し、無担保コールO/N物加重平均レートは25日▲0.016%、26日▲0.017%、27日▲0.018%と日を追う毎に小幅低下した。28日は、週末4日積みの取引となったが、前日比でレート水準に大きな変化は見られず、▲0.03～▲0.008%のレンジでの出会いとなった。

ターム物に関しては、ショートターム物で▲0.010%近辺での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は560兆円台前半で始まり、週半ばは国債買入オペ等の要因により、560兆円台後半まで上昇、その後は28日の新型コロナオペの期落ち額が大きく、560兆円台前半まで減少した。

4月27日～28日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

また、連続指値オペの運用の明確化が発表され、10年物国債金利について0.25%の利回りでの指値オペを、明らかに応札が見込まれない場合を除き、毎営業日、実施されることとなった。

25日には指値オペが10時10分に実施された（この日の応募締切は15時30分であった）。10年利付国債365回の買入利回りは0.250%であった。新発債である366回債の利回りは朝方と同じ0.245%で推移した。オペには7,275億円の応札が見られた。

26日には指値オペが10時10分に実施された（この日の応募締切は15時30分であった）。10年利付国債365回の買入利回りは0.250%であった。新発債である366回債の利回りの気配は0.245%で推移した。オペには9,215億円の応札が見られた。26日の夕方には、27日から28日まで連続指値オペを実施することが事前に通知された。対象は10年利付国債364回、365回、366回で、買入れを行う利回り水準は0.250%。

27日には指値オペが10時10分に実施された（この日の応募締切は15時30分であった）。10年利付国債365回の買入利回りは0.250%であった。新発債である366回債の利回りの気配は0.245%で推移した。応札は無かった。

28日には指値オペが10時10分に実施された（この日の応募締切は11時00分であった）。10年利付国債365回の買入利回りは0.250%であった。新発債である366回債の利回りの気配は0.245%で推移した。オペには5,816億円の応札が見られた。決定会合では、連続指値オペの運用の明確化が決定され、明らかに応札が見込まれない場合を除き、毎営業日実施することとなった。12時30分には再度指値オペが実施された（この日の応募締切は15時30分であった）。10年利付国債365回の買入利回りは0.250%であった。新発債である366回債の利回りの気配は、午後は0.20%台前半に低下しており、応札は無かった。

●レボ市場

今週のO/N GCは、▲0.200～▲0.100%のレンジでの取引となった。日銀による連続指値オペの影響で、GCもボラティリティの激しい状況となった。週初は▲0.10%台半ばで始まり、週半ばに▲0.20%近辺まで低下したものの、週末には再び上昇し▲0.10%台前半での取引が見られた。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札の予定がない中で、短国買入オペの金額が前回オファー時と同額であったことも材料視され、全ゾーンで堅調に推移した。

26日に実施された短国買入オペは、前回と同額の5,000億でオファーされ無難な結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は月末週にあたり、石油、電気・ガス、鉄鋼等複数の業態で大型発行が相次ぎ、発行量が膨らんだ結果、週間の償還総額1兆4,000億円に対して発行額2兆円程度と発行超のマーケットとなった。

市場残高は、月初から活発な発行が続いたこともあって4月末に25兆円台後半となり、3月末（19兆台後半）を大幅に上回った。発行レートについては、新型コロナオペ終了などの影響で0%程度が中心となっているが、大型発行や期間の長い発行では、わずかに金利上昇するケースも観測された。

25日にはCP等買入オペが事前予定通り4,000億円でおfferされた。応札額は7,211億円で前回（9,752億円）から減少。発行金利の上昇を受けてか小幅のマイナス金利に応札が集中し、平均落札レートは▲0.001%、按分落札レートは▲0.004%と前回（平均落札レート▲0.004%・按分落札レート▲0.008%）比で平均・按分ともに上昇した。

●短期金融市場関連指標

| | 日経平均（円） | 新発10年物 国債利回り（%） | 為替 （ドル/円中心相場） | 無担保コールO/N （加重平均・%） | 東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%） | 日銀当座預金残高 （億円） |
|---------|-----------|--------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 4/25（月） | 26,590.78 | 0.245 | 128.78 | △ 0.016 | △ 0.131 | 5,643,800 |
| 4/26（火） | 26,700.11 | 0.245 | 127.60 | △ 0.017 | △ 0.159 | 5,648,300 |
| 4/27（水） | 26,386.63 | 0.245 | 127.62 | △ 0.018 | △ 0.191 | 5,677,800 |
| 4/28（木） | 26,847.90 | 0.215 | 129.90 | △ 0.021 | △ 0.148 | 5,621,800 |
| 4/29（金） | | | | | | |

来週・再来週（5月2日から5月13日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

| | 国内主要経済指標 | 国債等入札予定 | | | 海外主要経済指標 |
|----------|--|--------------------------------|--|--|---|
| 5/2 (月) | 4月の消費動向調査(内閣府 14:00) | | | | 3月の米建設支出 4月のISM 製造業景況指数 |
| 5/3 (火) | 憲法記念日 | | | | 米FOMC(1日目) 3月の米製造業新規受注・出荷・在庫 |
| 5/4 (水) | みどりの日 | | | | 米FOMC(2日目) 3月の米貿易収支 4月のISM 非製造業景況指数 |
| 5/5 (木) | こどもの日 | | | | 英中銀MPC結果発表 |
| 5/6 (金) | 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 4月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 4月のマネタリーベース(日銀 8:50) | TB3M 59,000億円 5/9発行 | 流動性供給 5,000億円 5/9発行 | | 3月の米消費者信用残高 4月の米雇用統計 |
| 5/9 (月) | 5月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 金融政策決定会合議事要旨(3月17・18日分 8:50) 3月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) | TB6M 34,500億円(見込) 5/10発行 | | | 3月の米卸売売上高 |
| 5/10 (火) | 3月の全世帯家計調査(総務省 8:30) | 10Y 27,000億円(見込) 5/11発行 | 交付税借入 13,000億円(見込) 5/18借入 | | |
| 5/11 (水) | 3月の景気動向指数速報(内閣府 14:00) 4月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) | | | | 4月の米財政収支 4月の米消費者物価指数 |
| 5/12 (木) | 決定会合における主な意見(4月27・28日分 8:50) 3月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00) | 30Y 9,000億円(見込) 5/13発行 | エネルギー 対策借入 8,000億円(見込) 5/20借入 | | 4月の米生産者物価指数 1-3月期の英GDP速報値 |
| 5/13 (金) | 4月のマネーストック(日銀 8:50) 3月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) | TB3M 59,000億円(見込) 5/16発行 | | | 5月のミシガン大消費者信頼感指数速報 |

●資金需給予想

| 単位：億円 | 銀行券要因 | 財政等要因 | 資金過不足 | オペ種類 | 期日分 | 新規実行分 | オペ合計 | 実質過不足 | 需給要因 |
|----------|--------|----------|----------|----------------------|----------------|-------|---------|----------|---|
| 5/2 (月) | 500 | ▲ 21,500 | ▲ 21,000 | 国債買入 国債補完 CP買入 | 5,800 ▲ 100 | 5,800 | 11,500 | ▲ 9,500 | 2Y発行▲28000償還10900 |
| 5/3 (火) | 憲法記念日 | | | | | | | | |
| 5/4 (水) | みどりの日 | | | | | | | | |
| 5/5 (木) | こどもの日 | | | | | | | | |
| 5/6 (金) | 3,000 | ▲ 11,000 | ▲ 8,000 | | | | 0 | ▲ 8,000 | |
| 週間合計 | 3,500 | ▲ 32,500 | ▲ 29,000 | — | 5,700 | 5,800 | 11,500 | ▲ 17,500 | |
| 5/9 (月) | 3,000 | ▲ 45,000 | ▲ 42,000 | | | | 0 | ▲ 42,000 | 税保険料揚げ 流動性供給▲5000 TB3M発行▲59000償還50000 交付税借入▲13000償還11000 |
| 5/10 (火) | 3,000 | 3,000 | 6,000 | | | | 0 | 6,000 | TB6M発行▲34500償還34500 |
| 5/11 (水) | 3,000 | ▲ 21,000 | ▲ 18,000 | 全店共通 | ▲ 4,500 | | ▲ 4,500 | ▲ 22,500 | 10Y発行▲27000 |
| 5/12 (木) | 2,000 | ▲ 6,000 | ▲ 4,000 | | | | 0 | ▲ 4,000 | 源泉所得税 社会保障の払い |
| 5/13 (金) | 1,000 | ▲ 7,000 | ▲ 6,000 | | | | 0 | ▲ 6,000 | 30Y発行▲9000 交付税借入▲13000償還11000 |
| 週間合計 | 12,000 | ▲ 76,000 | ▲ 64,000 | — | ▲ 4,500 | 0 | ▲ 4,500 | ▲ 68,500 | |

5/2は日銀予想、5/6以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

来週のインターバンク市場は、連休の谷間での取引となる。金融政策決定会合が現状維持となった事もあり、引き続き邦銀を中心とした調達が見込まれる。レート水準に関しては、横ばいからやや低下と予想する。再来週は、積み期終盤となる事から、着地に向けた調整を行う先が増える事も見込まれ、レートが上昇する事も予想される。債券レボ市場は、足元GCで動きが大きくなる事も見込まれ、▲0.180～▲0.080%のレンジでの推移を予想する。短国市場は、5月6日に3M物、9日に6M物、13日に3M物の入札実施が予定されている。短国買入オペの有無についても注視したい。CP市場は、5月2日・6日が大型連休の谷間にあたることから発行案件の少ない閑散なマーケットとなると見られる。再来週は12日にCP等買入オペが予定されている。

主要なイベントは、海外で5月3～4日にFOMC、5日に英中銀MPC結果発表、6日に4月の米雇用統計、11日に4月の米消費者物価指数の発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。